

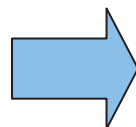
職場のストレスも重なり重度のアトピー性皮膚炎 今はふつうの肌です。

37歳 男性 入院 2010.1.18～2010.5.31

数年前よりアトピー性皮膚炎発病 近医にてステロイド外用治療 2008.9 当院外来通院 全身性の重度のアトピー性皮膚炎で ステロイド プロトピック外用+ 抗アレルギー剤多剤内服併用でもコントロール不良となり 仕事での精神的ストレスも重なり入院となった。



2010.3.29



2010.12.4

	正常値	2010.1.19	2.8	3.8	4.23	5.24	6.15	8.10	9.28	2011.2.4	2012.11.27
TARC	450 以下	708	17408 ↑	26843 ↑	6648 ↓	3062 ↓	872 ↓	282 ↓	166 ↓	232	572
LDH	120～245	249	452 ↑	524 ↑	273	222	223 ↓	191 ↓	181 ↓	212	188
IgE	170 以下	1188	1078	2101	2352	2015 ↓	2769	1703 ↓	1415 ↓	717 ↓	714
好酸球	7%以下	12.6	17.0	24.0	11.9	30.0	7.0 ↓	3.4 ↓	0.7 ↓	3.0	0.8
アラキドン酸	113～238		89.4		90.3	72.9					
EPA	9～128		23.7		78.8	72.8					
EPA/アラキドン酸	0.06～0.7		0.27		0.87	1.00					

入院後は脱ステロイドを行い 皮膚炎はやや悪化 皮膚炎の指標である TARC LDH はステロイド離脱で2ヶ月は上昇 その後は順調に低下 TARC LDH 好酸球は正常値にまで低下 2010.9 からは 薬は保湿剤も含めてほとんど不要になっている。アラキドン酸は残念ながら入院前の測定値がないので変化がわからないが入院後は低値を維持できていた EPA はサプリメントを摂取し4.23からは高くなっている。退院後も自宅でバチルス入浴療法を継続して良好な状態を維持。2010.9.7より外用 内服は不必要になっている。IgE もステロイド プロトピックを使用していた入院時よりも低下し皮膚炎の自覚症状はほとんどなく肌も正常皮膚に戻った、発汗の多い職場に復帰したが悪化はなく経過。2012.6 から BST を転居後中止したが半年後にアトピー性皮膚炎やや悪化 再度バチルス入浴療法を再開し安定。現在に至る。